

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年9月30日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから9月30日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、10月4日の（2）、材料技術評価検討会です。

この技術評価検討会というのは、規制庁が行っている安全研究プロジェクトについて、有識者の意見を聞くというもので、プロジェクトごとに置かれていまして、今回はその材料技術版ということになります。5年プロジェクトの今年が中間年なので、中間評価を行うということになります。

次、2ページ目ですけれども、10月4日の（3）、核燃料施設等のほうの審査会合です。

議題は3つで、1つ目は日本原電の東海低レベル廃棄物埋設事業所の、いわゆるトレンチ処分についてです。

もともとこれは2015年に申請していたようですけれども、審査会合を重ねる中で、3年ほど前に設計変更が必要になって、それで審査が中断していたもののようなのです。その設計変更後の資料が整ったので、久しぶりに審査再開ということになるもののようなのです。

2つ目と3つ目は常陽です。

2つ目は、地盤斜面安定性についてということで、3つ目はプラント側のほうで、今後のスケジュールの確認と、残された幾つかの論点、火災とか耐震設計といったものについての議論があるようです。

次、10月6日の（6）、第1079回審査会合です。

議題は1つで、浜岡の保安規定です。

放射線管理が必要な管理区域を変更するものになりまして、8月8日に申請があって今回聞くということになります。

次が、10月6日の（7）、高経年化技術評価に関する審査会合です。

議題は3つで、志賀の1号機と浜岡の4号機と柏崎刈羽の3号機の3つです。

いずれも間もなく運転開始から30年を迎えることを受けてのものでありまして、この夏に申請があったので、今回初会合ということになります。

次、3ページ目に行きまして、10月7日の（8）、第1080回の審査会合です。

議題は4つありますけれども、いずれも震源を特定せずの関係ということになります。

1つ目と2つ目は九州電力の関係でありまして、前回、これは7月1日だったのですが、その際に行うことになっていたボーリング調査の中間経過が報告されるということになります。

3つ目が、東海第二です。

これは、前回6月10日のコメント回答ということになります。

4つ目は、東北電力東通で、前回8月5日のコメント回答ということになります。

3ページ目の一番下、委員の現地視察というところで、10月13日から14日にかけて石渡委員が志賀を視察します。発表のとおり取材が可能になっています。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—